

団体・関係者ヒアリング等を踏まえた 追加論点（案）

1. 高等教育を取り巻く状況

- 社会を取り巻く変化
 - ・ 将来の経済競争力や安全保障を支える競争の激化など世界的な危機の時代の中での重要分野の人材育成
 - ・ 人口減少によって生じる空き空間の有効活用
- 高等教育を取り巻く変化
 - ・ 専攻分野における男女別進学率の格差
- その他

2. 今後の高等教育の目指すべき姿

- 全体像
 - ・ 供給者目線だけでなく、学生の視点に立ったビジョンの提示
 - ・ 高等教育のビジョンとしての well-being の向上
- その他

3. 今後の高等教育政策の方向性と具体的方策

（1）教育研究の「質」の更なる高度化

- 学修者本位の教育実現に向けた設置基準や設置審査の在り方
 - ・ 教育の質を高めていくための評価制度等の在り方
 - ・ 入口段階における合格難易度による大学評価から、出口段階における学生の能力の伸び等による大学評価へ転換するための方策
 - ・ 定員管理方策の在り方
 - ・ 通信教育や遠隔教育における質の確保方策

＜本日特に御議論いただきたい点＞

- 大学設置基準、設置認可審査、設置計画履行状況等調査（AC）、評価制度、情報公表の見直しの方向性について
 - ・ 教育・学修や研究の質を一層高めるための仕組みの在り方（従来の定員を中心とした管理から、教育の質の管理への転換を図るための方策）
 - ・ 転編入学・転学部やレイトスペシャライゼーション、大学間連携等を促進するための定員管理等の在り方
 - ・ 規模の適正化を図りつつ、新陳代謝を促すための設置認可審査の方策
 - ・ 学生や入学希望者、社会への説明責任と教育研究の更なる改善による好循環を促進するための情報公表の在り方

【参考】関連資料集（2）－3・4・12

- 人口減少期における大学入学者選抜の在り方
- 文理融合教育を推進するための大学入学者選抜の在り方
- 多様な学生の受入れ促進に向けた方策
 - ・ 専門高校、専門学校等からの意欲ある生徒等の大学への進学・編入学の促進
 - ・ 教育研究実施組織の整備等による教育支援体制の充実の在り方
 - ・ 学生・教職員の女性割合の向上
 - ・ 留学生受入れにおける入学前（入学者選抜を含む）、入学後、卒業後の各段階の促進方策
 - ・ 国際化の推進のための海外の卓越した大学とのネットワーク構築
 - ・ 社会人のリカレント教育・リスキリングを推進するための履修証明プログラム・マイクロクレデンシャルの検討や学修歴のデジタル証明の促進方策、社会への意義の発信、経済的支援の在り方
- 大学院教育の在り方
 - ・ 学士課程と修士課程の連続性ある教育の推進方策
 - ・ 大学院間の連携
 - ・ アカデミア以外の進路に進む学生のためのプログラム構築
 - ・ 博士人材の能力の可視化等による産業界からの理解・協力
 - ・ 女性の大学院進学者の増加に向けた方策
- 研究力の強化
 - ・ 研究時間の確保方策
 - ・ 多様なバックグラウンドの研究者の人材交流の活性化方策（国際頭脳循環の促進、クロスアポイントメント制度の活用等）
 - ・ 大学職員（専門職員）の高度化
- その他

（２）高等教育全体の「規模」の適正化

- 少子化が進む中での規模の在り方
 - ・ 地域単位での将来的な規模の提示
 - ・ 留学生、社会人学生、博士課程学生の増加方策
 - ・ 大学連携推進法人等の仕組みの見直し、新しい連携の形の構築
 - ・ 研究型大学の大学院へのシフト
 - ・ 事務組織の基盤強化
- その他

（３）高等教育への「アクセス」確保

- 国と地方の役割の在り方
 - ・ 地域の高等教育機関の連携・再編や地理的アクセスの確保にあたっての協議体の在り方や具体的方策
 - ・ 地方公共団体における高等教育への関与の在り方

- ・ 政府における関係省庁間での連携の在り方
- 地方大学の在り方
 - ・ 地方大学振興のための支援方策
 - ・ 大都市圏への人口流出を抑制するための地方大学の魅力向上方策
 - ・ 地方大学における教員確保方策
- その他

4. 機関別・設置者別の役割や連携の在り方

- 機関別の在り方
 - ・ 短期大学の大学・大学院との接続の在り方
- 設置者別の在り方
 - ・ 国立大学間や公私立大学等との多面的な連携
 - ・ 私立大学の公立大学化や、地方公共団体と連携した支援の在り方
- 機能別の役割や連携の在り方
- その他

＜本日特に御議論いただきたい点＞

- 社会や高等教育を取り巻く変化を踏まえた、機関別や設置者別の役割・機能や連携の在り方とそれを踏まえた具体的方策について
 - ・ 国公立大学等の役割・機能や連携（大学等連携推進法人の活用を含む）の在り方を踏まえた、規模の見直しや連携・再編等を促進するための方策
 - ・ 機能別の観点を踏まえた役割や連携の在り方

【参考】関連資料集（２）－９・１０、（３）

5. 高等教育改革を支える支援方策の在り方

- 公財政支援の在り方
 - ・ 設置者を問わない「シンプルで透明で安定的で多様性を許容する」資源配分の在り方
 - ・ トップ層の育成（選択と集中）と中間層の育成（厚い裾野）の在り方
 - ・ 競争的資金や基盤的経費のより有効な活用方策
 - ・ 地方における進学機会確保のための支援の在り方
- 個人・保護者負担の在り方
 - ・ 高等教育に必要なコスト算定の在り方
- 社会からの投資の拡大方策
 - ・ 企業等からの寄附をより促進するための方策
- その他

＜本日特に御議論いただきたい点＞

- 公財政支援、個人・保護者負担、社会からの投資の在り方について（短期（約２～３年）、中長期（約５～１０年程度）別の在り方）

- ・ 機関補助と個人支援のそれぞれの特徴を踏まえた公財政支援の在り方や、基盤的経費助成と競争的資金配分による支援の在り方
 - ・ 高等教育の社会的便益・私的便益を踏まえた授業料等を含む個人・保護者負担の在り方
 - ・ 企業等からの寄附金や社会からの投資の拡大など多様な資金調達を通じた経営基盤の確立・強化の方策
- 高等教育機関に対する、社会からの信頼の獲得方策について
- 【参考】関連資料集（４）